

テノキシカム錠 Tenoxicam Tablets

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45μm 以下のメンブレンフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 V mL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中にテノキシカム($C_{13}H_{11}N_3O_4S_2$)約 11μg を含む液となるように薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別にテノキシカム標準品を 105℃で 4 時間乾燥し、その約 0.028g を精密に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)に溶かし、正確に 100mL とする。この液 4mL を正確に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 368nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

テノキシカム($C_{13}H_{11}N_3O_4S_2$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 36$$

W_s : テノキシカム標準品の量(mg)

C : 1 錠中のテノキシカム($C_{13}H_{11}N_3O_4S_2$)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
10mg	30 分	80%以上
20mg	45 分	80%以上

テノキシカム標準品 「テノキシカム」。ただし、乾燥したものを定量するとき、テノキシカム($C_{13}H_{11}N_3O_4S_2$)99.0%以上を含むもの。